

高等学校 令和4年度（1学年用） 教科 国語 科目 現代の国語

教科： 国語 科目： 現代の国語 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 H1 組 H2 組 F 組 A 組

使用教科書：（ 数研出版 新編 現代の国語 ）

教科 国語 の目標：

- 【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。
- 【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。

科目 現代の国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		話・聞	書	読					
A 書き手の意図をつかむ 【知識及び技能】 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使うことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わることができるようにする。	「目指す世界の地図を作る」 【チェックポイント1】「わかりやすく話す」	○	○		・話し言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解している。〔(1)イ〕 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。〔C(1)ア〕 ・筆者の意図や表現上の工夫を的確に読み取り、学習課題に沿って適切に説明できる。	○	○	○	5
B 文章の展開を把握する 【知識及び技能】 文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わることができるようにする。	「時間とは何か」 【チェックポイント2】メモをとりながら聞く 【適切に話す・聞く】スピーチ	○	○		・文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。〔(1)オ〕 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。〔C(1)ア〕 ・筆者の考えを粘り強く理解し、適切な表現を用いて、学習課題に沿って論理的にまとめることができる。	○	○	○	6
定期考査						○	○		1





高等学校 令和4年度（1学年用） 教科 国語 科目 言語文化

教科：国語 科目：言語文化 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 H1組 H2組 F組 A組

使用教科書：（数研出版 新編 言語文化）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。

【思考力、判断力、表現力等】「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、生涯にわたる社会生活における他

【学びに向かう力、人間性等】言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めよ

科目 言語文化 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数	
		話・聞	書	読						
<p>A 「ことば」を吟味する</p> <p>【知識及び技能】我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わることができるようにする。</p>	<p>「言語文化と近現代」</p> <p>「舟を編む」</p> <p>「【ズームアップ】辞典？事典？字典？辞書？」</p>			○					3	
<p>B 古文の世界を楽しむ</p> <p>【知識及び技能】古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解することができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わることができるようにする。</p>	<p>「古典への招待」</p> <p>「宇治拾遺物語」</p> <p>「古典文法1」</p>			○					5	
定期考査						○	○			1

1 学 期	<p>C 現代にも生きる教え</p> <p>【知識及び技能】 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解することができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつことができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わることができるようにする。</p>	<p>「徒然草」 「古典文法2」</p>				<p>・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解できる。〔2ウ〕</p> <p>・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつことができる。〔B(1)オ〕</p> <p>・進んで本文を自分と引きつけて捉え、学習の見通しをもって話し合うことができる。</p>					5
	<p>D 受け継がれる古典</p> <p>【知識及び技能】 文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解することができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わることができるようにする。</p>	<p>「羅生門」 「【探究の扉】今昔物語集」</p>				<p>・文章の意味は、文脈の中で形成されていることを理解できる。〔1)エ〕</p> <p>・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができる。〔B(1)イ〕</p> <p>・積極的に自らの作品世界を構築し、学習課題に沿って自分の考えを文章にすることができる。</p>					5
	<p>E 詩歌を味わう</p> <p>【知識及び技能】 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価することができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わることができるようにする。</p>	<p>「六月」 「サーカス」 「短歌」</p>				<p>・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。〔1)ウ〕</p> <p>・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価することができる。〔B(1)ウ〕</p> <p>・進んで作品構成を解釈し、学習課題に沿って詩を創作することができる。</p>					6
	定期考査										
学	<p>F 語感を磨く</p> <p>【知識及び技能】 文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解することができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価することができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わることができるようにする。</p>	<p>「側転と三夏」 「【ズームアップ】十七文字の言葉に遊ぶ」 「俳句」 「【探究の扉】春や春」</p>				<p>・文章の意味は、文脈の中で形成されていることを理解できる。〔1)エ〕</p> <p>・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価することができる。〔B(1)ウ〕</p> <p>・進んで題名の意味を解釈し、学習課題に沿って話し合いに参加することができる。</p>					5

<p>G 昔と変わらない人の心</p> <p>【知識及び技能】 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解することができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わることができる。</p>	<p>「言語文化と古文」 「伊勢物語」 「古典文法3」</p>			<p>・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解できる。〔2ウ〕</p> <p>・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができる。〔B(1)イ〕</p> <p>・和歌に込められた心情を粘り強く解釈し、学習課題に沿ってそれを現代語の短歌に書き直すことができる。</p>	○	○	○	8
<p>定期考査</p>					○	○		1
<p>H 文体の魅力</p> <p>【知識及び技能】 文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解することができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価することができるようにする</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わることができるようにする。</p>	<p>「名人伝」 「【探究の扉】山月記」</p>			<p>・文章の意味は、文脈の中で形成されていることを理解できる。〔1エ〕</p> <p>・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価することができる。〔B(1)ウ〕</p> <p>・「妙な話」が持つ意味合い粘り強く考察し、これまでの学習を生かして考えることができる。</p>	○	○	○	5
<p>I 戦乱下の人間像</p> <p>【知識及び技能】 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解することができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わることができるようにする。</p>	<p>「平家物語 木曾の最期」 「【ズームアップ】和漢混濁文」</p>			<p>・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解できる。〔2ウ〕</p> <p>・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができる。〔B(1)イ〕</p> <p>・義仲と兼平の性格の違いについて粘り強く本文を分析しながら考察し、今までの学習を生かして話し合うことができる。</p>	○	○	○	6
<p>J 和歌が作り出す世界</p> <p>【知識及び技能】 本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解することができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にすることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わることができるようにする。</p>	<p>「万葉集・古今和歌集・新古今和歌集」 「【探究の扉】和歌を訳す」</p>			<p>・本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解できる。〔1オ〕</p> <p>・「書くこと」において、自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にすることができる。〔A(1)ア〕</p> <p>・好きな和歌について積極的に調べ、学習課題に沿って紹介文を書くことを理解する。</p>	○	○	○	3
<p>定期考査</p>					○	○		1



## 令和4年度(2022年度) 年間指導計画

教科	国語	対象クラス	○ 必修	単位数	3単位
科目	国語総合	2H1・2H2・2F・2A	必修選択		
使用教科書 使用教材	標準国語総合(第一学習社) トータルサポート新国語便覧(大修館書店) 意味から学ぶ常用漢字(第一学習社)				
評価の 観点・方法	定期考査(70%)・漢字の小テスト(20%)・提出物、学習態度(10%)				

学期	月	単元	具体的指導目標	指導内容	予定時数
1 学期	4	随想	繰り返しの表現に注目し、筆者の関心の所在や、生き方について考察させる。	黒柳徹子「黄色い花束」	5
	5	古文(随筆) 中間考査 短歌・俳句	随筆の読みを深めていくことにより、自身の生活を振り返り、観察眼を養う。	徒然草「つれづれなるままに」 「ある人、弓を射ることを習ふに」	8
	6	評論	問いを立て、その問いに分析的に答えていく手法で、物事の仕組みに気づいていく、評論の論法を理解する。	内田樹「人はなぜ仕事をするのか」	8
	7	古文(随筆)期末考査	随筆の読みを深めていくことにより、当時の美意識に触れる。	徒然草「神無月のころ」	4
	8				
2 学期	9	小説	登場人物の行動や心理、及び彼らの置かれた状況を読み取るとともに、場面の情景を思い描かせる。	芥川龍之介「羅生門」	8
	10	中間考査 古文(歌物語)	歌物語を味わい、初期仮名文学への興味を広げる。	伊勢物語「筒井筒」	7
	11	評論	論理的に結論付けるとはどうか考える力を身につけさせる。	養老孟子「科学は正しいか」	8
	12	期末考査			1
3 学期	1	漢文(漢詩)	漢詩(唐詩)の決まりを学び、詩の世界観を味わう。	王維「送元二使安西」	5
	2	漢文(史伝)	比較的長い、平易な漢文に慣れ、訓読の決まりを学ぶ。今日使われる言葉の由来を知る。	十八史略「鶏口牛後」「完璧」	6
	3	学年末考査			1

## 令和4年度(2022年度) 年間指導計画

教科	国語科	対象クラス	○ 必修	単位数	単位
科目	現代文B	3H1・3H2・3F・3A	必修選択		
使用教科書	新編現代文B(東京書籍)				
使用教材	トータルサポート新国語便覧(大修館書店) 意味から学ぶ常用漢字(第一学習社)				
評価の 観点・方法	定期考査(70%)・漢字の小テスト(20%)・ノートやプリントなどの提出物(10%)				

学期	月	単元	具体的指導目標	指導内容	予定時数
1 学期	4	随想 小説	筆者の考え方や感じ方を、表現の特徴に注意して読み取る。 小説に描かれた人物の心情や人間関係を表現に即して読み取る。	茂木健一郎「最初のペンギン」 吉本ばなな「みどりのゆび」	7
	5	中間考査 評論	文章の構成、展開、要旨を的確に捉える。	河合隼雄「『ふしぎ』ということ」	8
	6	小説	登場人物の行動や内面を探り、人間への理解を深める。	中島敦「山月記」	13
	7	期末考査	登場人物の行動や内面を探り、人間への理解を深める。	中島敦「山月記」	3
	8				
2 学期	9	小説	小説を読むことを通して、自分とは何か、人間とは何かという問題について考えを深める。	夏目漱石「こころ」	9
	10	中間考査 小説	小説を読むことを通して、自分とは何か、人間とは何かという問題について考えを深める。	夏目漱石「こころ」	11
	11	評論 随想	表現に注意し、提示された問題を的確に把握する。 体験に基づく随想を読み、筆者の思いを表現に注意して捉える。	鷲田清一「思考の肺活量」 小池昌代「カフェの開店準備」	7
	12	期末考査	体験に基づく随想を読み、筆者の思いを表現に注意して捉える。	小池昌代「カフェの開店準備」	3
3 学期	1	評論 小説	筆者の考えを手掛かりにして、現代社会を生きていくうえでどのような姿勢が必要なのか考える。 表現の巧みに触れ、読書の楽しさを見出す。	廣淵升彦「安心について」 絲山秋子「ベル・エポック」	6
	2	学年末考査			
	3				